

影響に関する報告例の評価方針について（案）

1. 内分泌攪乱作用を有すると疑われる化学物質が人や野生生物に有害影響をおよぼすとする仮説に関する国内情報の収集方法

文献検索データベースを利用して、文献検索を行い、国内における人健康影響に関する文献及び国内における生態影響に関する文献を収集する。

文献検索データベースとしては、国内の情報源が比較的広いJOIS（独立行政法人科学技術振興機構が提供するオンライン文献検索システム）等を利用する。

2. 収集した国内情報の評価方法

得られた国内情報の評価（懸念される影響と化学物質曝露との関連性及びその関連性において内分泌系が介在するメカニズムの関与の有無）を行う。

評価作業に当たっては、下記の各分野の専門家からの助言を得る。

人健康影響
生態影響
作用メカニズム
曝露

なお、WHOグローバルアセスメント第7章「内分泌攪乱化学物質を評価するための原因クライテリア（フレームワーク案）」を参考とする。